

農作物を凍霜害から守りましょう！

会津若松市防霜対策本部

1 こんな日は要注意！（降霜のおそれのある気象条件）

- ① 夜間、空が晴れ、星が満天にきらめくとき。
 - ② 風が弱く空気が乾いているとき。
 - ③ 日中、風や小雨で肌寒く、夕方になって風がやみ晴れ上がったとき。
- ※上記の条件で夕方から気温が急に低下したときは特に注意

2 果樹

- 重油・灯油・固形燃料などの発熱資材を十分準備する。
古タイヤは廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により使用が禁止されているため、絶対に燃やさない。
燃焼法を用いる際は消防に事前に連絡して行うようにし、火災発生防止に努める。
- ほ場の気温は、温度計を地上から1.5mの高さで観測し、发育ステージに応じて発熱対策をする。
- 凍霜害を受ける温度は下表のとおり。この温度以下に1時間おかれた場合、花芽が障害を受けるおそれがあります。
- 柿の防霜対策は特に注意しましょう。

樹種	品種	発芽期	花蕾露出期	花弁露出期	開花直前	満開期
もも	あかつき	—	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5
なし	幸水	-3.6	-2.9	-2.5	-1.8	-1.3
りんご	ふじ	-2.1	-2.1	—	-2.0	-1.5
おうとう	佐藤錦	-3.0	-1.6	-1.5	-1.7	-1.7

樹種	品種	発芽期	一葉期	二葉期	三葉期	四葉期
ぶどう	巨峰	-4.6	-2.0	-2.0	-2.0	-1.8

品種		カキ(平核無)			
生育ステージ		発芽期		展葉期	
低温(-2℃~-3℃)に遭遇した時間		1時間	3時間	1時間	3時間
被害芽率	結露 有	100%	100%	100%	100%
	結露 無	33.3%	70%	100%	100%

3 野菜・花き

- ① ハウス栽培
 - ・ハウス内でも保温資材を利用し、作物が大きくなった場合は、ビニールカーテン等を張って保温に努める
- ② トンネル栽培
 - ・定植にあたっては、植え付けまでに地温を十分に上げ、降霜の心配のない日を選んで行う。定植直後は霜害を特に受けやすいので注意する。
 - ・ビニール被覆と不織布等を併用し、保温に努める。
- ③ 露地栽培
 - ・定植は降霜の危険が無くなるまで、なるべく行わない。
 - ・定植直後の苗などには、ベタがけ資材等を利用して保温に努める。

4 被害報告

- 被害が発生した場合、集落の農事組合長又はJA会津よつば各営農経済センターまでご連絡ください。